

提供日 2022/01/31
タイトル 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果（速報・第131報）
担当 危機管理部 原子力安全対策課
連絡先 安全対策班
TEL 054-221-2078



1 要旨

「浜岡原子力発電所の安全確保等に関する協定」に基づき実施している浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査について、前回の速報（令和3年12月28日）以降令和4年1月末までに結果がまとまったものを報告します。

採取した試料の一部（白菜及び土壌）で過去の変動幅を上回りましたが、**健康への影響が心配されるレベルではありませんでした。**

なお、「過去の変動幅」を上回った原因は、過去の核爆発実験等の影響に東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の影響が加わったものと推定しました。

※ 過去の変動幅：東京電力福島第一原子力発電所事故以前の5年間の測定値の範囲

2 測定結果等

ア 白菜（御前崎市2カ所 採取日：12/22 牧之原市1カ所 採取日：12/9）
放射性セシウム 測定結果の最大値：0.025 Bq/kg生 (ND)

イ 土壌（御前崎市3カ所 採取日：12/6 牧之原市1カ所 採取日：12/9）
放射性セシウム 測定結果の最大値：11.9 Bq/kg乾土 (1.7～8.9 Bq/kg乾土)

ウ あじ（発電所周辺海域 採取日：11/26）
放射性セシウム 測定結果の最大値：0.12 Bq/kg生 (0.11～0.18 Bq/kg生)

エ かさご（発電所周辺海域 採取日：11/26）
放射性セシウム 測定結果の最大値：0.083 Bq/kg生 (0.072～0.14 Bq/kg生)

オ 浮遊塵（御前崎市4カ所、牧之原市1カ所 採取期間：12/1～1/3）
放射性セシウム 測定結果の最大値：ND (ND)

(注)

- ・放射性セシウムは、セシウム134とセシウム137の合計を示します。
- ・「ND」は、検出されなかったことを示します。
- ・測定値に付記する()の中は、「過去の変動幅」を示します。

<参考>

食品中の放射性物質に関する基準値（抜粋）
放射性セシウム 一般食品 100 Bq/kg
乳児用食品、牛乳 50 Bq/kg
飲料水 10 Bq/kg

詳細は、次のURLの資料のとおりです。

http://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/hamaoka-monitoring_sokuho.html

3 今後の対応

- ・上記測定結果等については、静岡県環境放射能測定技術会において、学識経験者を含む構成員による評価を行います。
- ・技術会の評価結果については、静岡県原子力発電所環境安全協議会に報告します。